

研究番号 1130号 承認日 2019年11月15日

研究実施予定期間 承認日～2020年6月6日

情報公開文書

1. 研究課題名	手術患者の夜勤帯在室時間に影響する因子の検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	手術室スケジュール管理及び麻酔管理が手術室での夜勤帯在室時間に 影響する因子を抽出し、こうした要因に対して介入することで翌年勤 務状況が改善できたかどうかを検討する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	北 貴志 麻酔科 部長	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	北 貴志	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 連絡先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: <u>麻酔科</u> 担当者: (氏名) <u>北 貴志</u> (職名) <u>部長</u> 連絡先: 06-6771-6051 本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ 下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さん もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象 としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じる ことはありません。	

研究番号 1129号 承認日 2019年11月15日

研究実施予定期間 承認日～2020年12月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	深部静脈血栓症を有する手術症例に対する術前抗凝固療法の検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	静脈血栓塞栓症(VTE)の診療状況は2016年のアメリカ胸部医学会(ACCP)、2017年の日本循環器病学会のガイドラインの改定により大きく変化しているが周術期、特に術前に診断されたVTEの診療に対する指標は世界的にも存在していない。また直接経口抗凝固薬(DOAC)の登場により直近に手術を控えた外来患者においても治療介入し易くなっているが周術期に及ぼす影響や治療効果についても明らかではない。2007年5月～2019年12月までに当院で手術前の画像検査にて深部静脈血栓症を指摘され術前に抗凝固療法を施行した患者における治療効果、合併症、周術期における影響、非抗凝固療法患者との比較を当院のカルテ記載より後方視的に検討する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	上田篤史・麻酔科・医長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	上田篤史・麻酔科・医長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究(観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント)について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規(取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年(提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年(提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり(具体的な管理方法について:) <input type="checkbox"/> なし	
6. 連絡先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31 診療科: <u>麻酔科</u> 担当者: (氏名) <u>上田 篤史</u> (職名) <u>医長</u> 連絡先: 06-6771-6051 本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 1128号 承認日 2019年11月15日

研究実施予定期間 承認日～2020年12月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	深部静脈血栓症を有する手術症例に対する周術期の観血的空気圧迫装置、弾性ストッキングの着用状況の検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	静脈血栓塞栓症(VTE)の診療状況は2016年のアメリカ胸部医学会(ACCP)、2017年の日本循環器病学会のガイドラインの改定により大きく変化しているが周術期、特に術前に診断されたVTEの診療に対する指標は世界的にも存在していない。元来深部静脈血栓症(DVT)を有する患者に観血的空気圧迫装置(ICP)の着用は推奨されていないがその科学的根拠は明白ではなく、また各学会のガイドラインが改訂される中、3ヶ月以上経過した器質化血栓や歩行している無症候性の下腿の血栓などを一律に着用禁忌とすることには矛盾が生じている。周術期では原疾患によって抗凝固薬の投与が難しい症例もありICP等の予防装置や理学療法の積極的導入が期待されるがその指標、成績は存在しない。本研究では2007年5月～2019年12月まで手術前の画像検査にて深部静脈血栓症を指摘された患者における周術期の観血的空気圧迫装置や弾性ストッキング(GCS)の着用状況、DVTの転帰を電子カルテの記載より後方視的に検討することにより今後のエビデンスの構築に繋げたい。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	北貴志・麻酔科・部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	上田篤史・麻酔科・医長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究(観察研究)	〈インフォームド・コンセント(アセント)について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規(取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年(提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年(提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり(具体的な管理方法について:) <input type="checkbox"/> なし	
6. 連絡先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31 診療科: <u>麻酔科</u> 担当者: <u>(氏名) 上田 篤史</u> (職名) <u>医長</u> 連絡先: 06-6771-6051 本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さん	

	もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
--	--

研究番号 1016号 承認日 2019年4月9日

研究実施予定期間 2019年1月1日～2022年3月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	日本語版modified Frailty Indexの作成と信頼性・妥当性の検証	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合 には品名と一般名も記載)	超高齢社会の進展により、周術期合併症や死亡の要因である Frail は周術期マネジメントの重要な課題である。本院ではこれらに対応すべく周術期チームが活動しているが、適正な患者抽出や介入基準の策定は明らかにできていない。また本邦で臨床適用がしやすく、簡便で虚弱も含めた周術期リスクを同定できる妥当性の高い日本語の尺度は見当たらない。 したがって本研究の目的は modified Frailty Index (以下、mFI とする)の日本語版を作成し尺度の信頼性と妥当性を検証することである。電子カルテに掲載されている mFI 日本語版、世界保健機関・障害評価面接基準 (以下、WHODAS 2.0 とする)・TRP などの尺度の内容並びに患者の基本情報としての性別・年齢・術式・合併症・検査値などの抽出。mFI 日本語版については、開発者の許諾を得て順翻訳・逆翻訳を行い、研究者等による専門家会議にて調整開発する。(翻訳については大阪府立大学看護学研究科基盤研究費より拠出する。大阪府立大学 2019年度 女性研究者 研究実践力強化支援プログラム (RESPECT) 申請予定。COI 等は一切関係ない。) 信頼性と妥当性については、 α 係数の算出と WHODAS 2.0 と TRP 点数との相関関係を算出する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	北 貴志・麻酔科・部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	大江理英・看護部・非常勤看護師・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31	

研究番号 1005号 承認日 2019年3月12日

研究実施予定期間 承認日～2020年10月1日

情報公開文書

1. 研究課題名	低侵襲心臓外科手術における胸部硬膜外鎮痛と傍脊椎ブロックの単施設ランダム化比較試験	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	大阪警察病院で側開胸による人工心肺下低侵襲心臓血管外科手術 (minimal invasive cardiac surgery 以下 MICS) を受ける患者を、硬膜外麻酔群、傍脊椎ブロック群に割付けし、鎮痛効果、周術期合併症の発生率を比較検討する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	北 貴志 麻酔科 部長 大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	清水 千穂 麻酔科 副医長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 (北 貴志 麻酔科 部長) ・監査実施者 () <input type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について: 連結可能匿名化により作成) <input type="checkbox"/> なし	
6. 研究の対象及び 実施予定期間	大阪警察病院心臓外科にて側開胸による MICS を受ける患者のうち、硬膜外麻酔と傍脊椎ブロックに関する説明を受け、どちらを施行することに関して同意取得が得られた患者。	
7. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 麻酔科 担当者: (氏名) 清水 千穂 (職名) 副医長 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 964号 承認日 2019年1月10日

研究実施予定期間 承認日 ~

情報公開文書

1. 研究課題名	周術期患者リスク評価のための患者評価ツール運用	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	近年、手術を受ける患者自身のリスクが高くなってきており、呼吸器・循環器疾患のみならず、不動化によるサルコペニア・フレイルの患者も増えてきている。ハイリスク患者においては術後に誤嚥などの合併症を併発することも多く入院期間延長に直結している。これまでは、外来看護師・主治医がハイリスクと思われる患者のみ周術期管理依頼を行ってきたが客観的な評価はなされていなかった。そこで今後は客観的な患者評価スケールとして WHODAS2.0, TRP を用いてリスクの評価を行い日常業務のサポートに役立てると同時に、周術期の介入が患者転帰にどのような影響を与えたのか評価し今後の診療に役立てたいと考えている。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	北 貴志 麻酔科 部長 大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	北 貴志 麻酔科 部長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
9. 連絡先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 麻酔科 担当者: (氏名) 北 貴志 (職名) 部長 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

情報公開文書

1. 研究課題名	当院における術後肺血栓塞栓症例の検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	術後肺血栓塞栓症の発症率は2016年の日本麻酔科学会の全国調査では発生率1万に当たり2.85人と年々減少をしているものの致死率は9.6%と依然高く手術医療にとっては重要な課題である。より効率的な予防法、早期発見、救命率向上のため、2007年から2018年の12年間に当院で発生した術後肺血栓塞栓症例の患者背景、診断過程、治療経過をカルテ記載や手術台帳より後方視的に検討する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	北貴志・麻酔科・部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	上田篤史・麻酔科・医長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input type="checkbox"/> なし	
9. 連絡先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: <u>麻酔科</u> 担当者: (氏名) <u>上田 篤史</u> (職名) <u>医長</u> 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 847号 承認日 2018年3月14日

研究実施予定期間 承認日 ~

情報公開文書

1. 研究課題名	甲状腺手術患者の術後管理～甲状腺術後の危機的上気道閉塞を中心に～	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	当院は甲状腺手術を多数経験しており、その術後管理について学会等で発表を行ってきている。今回、日本集中治療医学会より原稿依頼をいただいたので学会雑誌の総説として寄稿することとなった。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	北 貴志 麻酔科 部長 大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	北 貴志 麻酔科 部長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について：) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 連絡先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科：麻酔科 担当者：(氏名) 北 貴志 (職名) 部長 連絡先：06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 846号 承認日 2018年3月14日

研究実施予定期間 承認日 ~

情報公開文書

1. 研究課題名	手術室スタッフの時間外労働削減への挑戦	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	政府が推し進めようとしている働き方改革は医療分野においても例外ではない。当院は緊急手術も多く、予定手術も長時間に及ぶことが多くスタッフの疲労も蓄積している。今回は周術期支援システムから周術期にかかわる時間を抽出して改善点を探ることとした。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	北 貴志 麻酔科 部長 大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	北 貴志 麻酔科 部長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 連絡先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: <u>麻酔科</u> 担当者: <u>(氏名) 北 貴志</u> <u>(職名) 部長</u> 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 812号 承認日 2018年1月16日

研究実施予定期間 承認日 ~

情報公開文書

1. 研究課題名	下肢末梢型DVTを有する大腿骨近位部骨折患者の保存療法の検討。	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	過去当院で施行された下肢末梢型 DVT を有し術前に保存療法のみ の大腿骨近位部骨折症例(2007.1.1 から 2017.12.31 まで)の術後経過より DVT、増悪の危険因子、進展様式等を検討することにより同患者の周 術期管理の安全性の向上とサーバランスの効率化を図ることを目的と する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	上田篤史、麻酔科、医長	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	上田篤史、麻酔科、医長	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法:) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: <u>麻酔科</u> 担当者: <u>(氏名) 上田篤史</u> <u>(職名) 医長</u> 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者 もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と せんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることは ありません。	